

金融面の取組み

地域密着型金融の推進

「健全経営を堅持し、もって地域社会の発展に寄与する」を経営理念とする当行は、常に環境変化を先取りし、質の高いサービスの提供を通して、地域発展に寄与することを目指しています。

人口減少や地方経済の成長率低下など社会構造・経済構造の変化がますます進み、地域経済においてもその影響を大きく受けています。このような経営環境の変化に果敢に挑むべく、第31次長期経営計画『変化に挑み、次代を創る』(2018年4月～2021年3月)を進めてきました。

基本方針

当行では、長期経営計画を着実に進めることが地域密着型金融の推進そのものであると位置づけ、取り組んでいます。テーマと主要施策は長期経営計画で明示し全行へ周知のうえ、推進しています。

また、「八十二銀行の金融円滑化への取組方針」を定め、お客さまの資金需要やお借入条件の変更などのご要望について対応しています。



八十二銀行の金融円滑化への取組方針
<https://www.82bank.co.jp/law/facilitation/index.html>



地域経済の活性化への貢献

当行グループは、地域経済の発展のため、地域産業の競争力強化につながる取組みを行っています。地域を支える金融機関として、金融・非金融両面から地域の「ひとづくり」と「まちづくり」に貢献していきます。

■ Topic 1 八十二「地方創生・SDGs応援私募債」

八十二「地方創生・SDGs応援私募債(地域活性化型)」は、2019年11月から取扱いを開始し、私募債発行に際して当行が発行企業さまから受け取る諸費用の一部を優遇し、発行企業さまの地域支援(優遇分による寄付)に役立てていただいています。

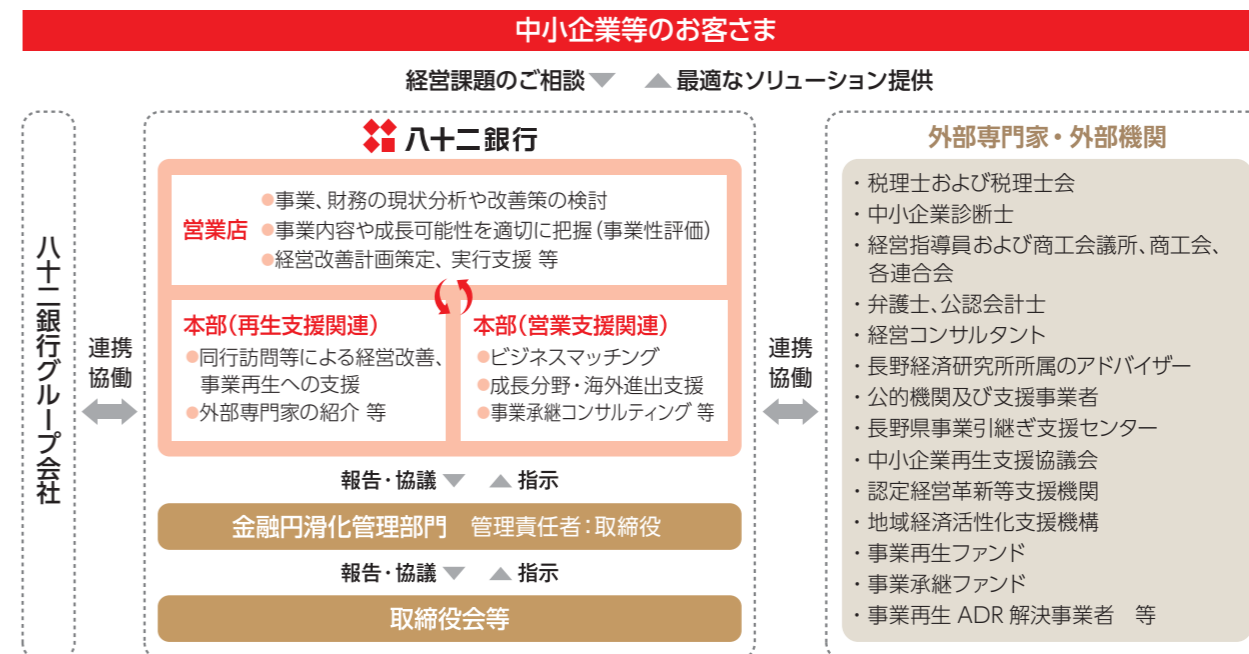
2020年度は、これまでの【教育口】・【福祉口】・【スポーツ振興口】からなる寄付対象に、【医療口】・【環境口】・【災害復興口】を新たに追加しました。

2020年度 引受実績 128件/100億円



態勢整備の状況

当行では、営業店と本部が連携し、グループ会社や外部専門家・外部機関などの幅広いネットワークを活用し、お客さまの経営課題の解決に取り組んでいます。



■ Topic 2 コロナ禍の影響に対するサポート

コロナ禍で停滞した経済活動の影響を受けられた事業者さまを金融・非金融の両面から支援しました。

非金融面のサポートでは、ウィズコロナ/アフターコロナを見据えた新たな事業展開支援を目的としてオンラインセミナーを開催したほか、「企業支援制度活用サポートチーム」を新設し、お客さまの補助金等の活用をサポートしています。

新型コロナ対応 専用融資 (2021年3月末時点) ▶ 15,307件 / 2,362億円	
プロパー ※保証協会付含む 1,378件 / 154億円	制度資金(保証協会付) 13,929件 / 2,208億円
災害復興特別融資 (2020年3月～) 限度額:3億円 期間:個別相談 502件 / 132億円	新型コロナウイルス感染症対応資金 (2020年5月～) ※実質無利子・無担保融資 10,205件 / 1,617億円
コロナウイルス対策緊急特別ファンド (2020年4月～) 限度額:5百万円 期間:7年以内 876件 / 21億円	経営健全化支援資金(新型コロナウイルス対策) (2020年3月～) 547件 / 165億円
	市町村制度資金 (2020年3月～) 3,177件 / 425億円

地域やお客さまに対する積極的な情報発信

「地域密着型金融推進」の取組状況は、ニュースリリースや当行ホームページを通じて皆様へお知らせするほか、ディスクロージャー誌の発行や投資家の皆様向け説明会などにより、積極的にお知らせしています。



■ 主な取組項目 (2020年度)

企業のライフステージに応じたコンサルティング機能の発揮

当行グループ一体となって総合的な金融サービスを提供し、地域活力の源泉となる事業者さまをサポートしています。

外部専門機関や当行海外拠点など幅広いネットワークを活用した多面的なコンサルティング機能を発揮し、創業期から世代交代期までお客さまのライフステージに応じた最適なソリューションを提供しています。

ステージ

主な取組み

起業・創業

支援先数

359先

「第9回信州ベンチャーサミット」などの開催により長野県内の創業機運を醸成するとともに、当行ホームページをリニューアルし、創業に関する情報の充実を図りました。



成長

ビジネスマッチング件数

3,573件

補助金申請支援やさまざまなビジネスマッチング、商談会の活用を通じてお客さまの新事業展開や、販路拡大、経営の効率化等を支援しました。



グローバル展開をサポートするセミナーなど

6回

貿易実務のアドバイスから為替リスクヘッジや海外進出のご相談まで、地銀有数の海外拠点網とネットワークを活用し、お客さまの海外ビジネスをサポートしました。



経営改善・事業再生支援

経営改善支援取組み先数

317先

コロナ禍で事業に影響を受けているなどの経営に課題を抱えるお取引先企業に対し、経営改善計画の策定と実行を積極的に支援しています。コンサルティング機能の強化も進め、経営改善支援や事業の成長に資するソリューション提供にも力を入れています。

経営改善支援取組み先数 α	317先
再生計画の策定・実行を支援している先数 β	293先
再生計画策定率 (γ/β)	45.7%
再生計画策定先数 γ	134先
再生計画の策定・実行を支援している先数 β	293先
ランクアップ率 (δ/α)	3.4%
ランクアップ先数 δ	11先
経営改善支援取組み先数 α	317先

事業承継・M&A

事業承継・M&A・転廃業支援先数

519先

後継者への円滑な自社株式の承継や、戦略的な事業の選択と集中など、一段と高まるM&Aと事業承継ニーズにお応えするため、専門的なサポートチームがワンストップでお客さまの課題解決をお手伝いしています。

事業承継コンサルティング



八十二銀行
現状分析・課題の抽出
プランの検討・プランの策定等

M&Aアドバイザー



八十二銀行・土業専門家
相手先の発掘・相手先への提案
M&A条件整理・交渉全般助言等

お客さま

地域社会

環境

株主・投資家さま

従業員

■ その他

■ 事業性評価への取組み

さまざまなライフステージにあるお取引先企業の課題解決に向け、各種研修による人材育成や外部機関との連携などにより、事業内容や成長可能性を適切に評価する取組みを強化しています。今後もお取引先企業の事業内容に対する理解を深めることによって、成長資金の支援や信頼関係強化につなげていきます。



■ 「経営者保証に関するガイドライン」への取組み

2013年12月に公表された「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨を十分踏まえた適切な対応を行うことにより、ガイドラインを融資慣行として浸透・定着させていくよう努めています。

取組実績	2019年上期	2019年下期	2020年上期	2020年下期
新規に無保証で融資した件数 (新規融資件数に占める無保証融資件数の割合)	3,061件 (26.2%)	2,837件 (23.7%)	6,206件 (37.0%)	4,551件 (37.2%)
事業承継時における保証徴求件数/割合 (前経営者・新経営者双方の保証徴求せず)	2件/0.5%	4件/1.0%	8件/1.7%	8件/2.5%
同(新経営者のみ)	201件/52.6%	214件/52.6%	242件/50.1%	125件/38.2%
同(前経営者のみ)	161件/42.2%	152件/37.3%	190件/39.3%	182件/55.7%
同(前経営者・新経営者双方)	18件/4.7%	37件/9.1%	43件/8.9%	12件/3.6%

社会貢献活動への取り組み

地域社会への貢献

金融経済教育

地域貢献の一環として、小・中・高等学校の児童・生徒の職場見学を積極的に受け入れています。金融経済の仕組みや銀行の社会的役割などの講義や、模擬紙幣を用いた紙幣の数え方の体験など、金融に関する知識や情報を正しく理解し主体的に判断するための金融リテラシー向上に貢献しています。

八十二留学生奨学金制度

教育分野における社会貢献と、お取引先企業の海外事業展開を見据えた国際的な人脈づくりを目的に、2012年度に創設しました。長野県内の大学院へ進学を志す外国からの留学生に対し、2年間奨学金を支給しています。

奨学生：延べ 21名 (2021年3月末時点)

スポーツ振興

長野県内に本拠地を置く5つのスポーツチームのオフィシャルスポンサーとして応援しています。スポーツ振興を通じて地域の活力創出に協力しています。



ボランティア活動

「八十二ボランティアクラブ」の一員として、地域の清掃活動や森林整備活動などの環境ボランティアをはじめ、「長野県縦断駅伝」など地域を代表するイベント運営、福祉関連や収集ボランティアなど各店舗独自の活動も活発に行っています。2020年度はコロナ禍ではありましたが、年間延べ約1,385名の職員がボランティア活動に参加しました。当行では、「ボランティア活動奨励特別休暇制度」を導入し、職員の自発的・積極的な活動参加を後押ししています。



地域経済・文化の振興

一般財団法人長野経済研究所の活動 ～地域の皆様の良きパートナーを目指して～

長野経済研究所は、高度化する地域社会のニーズに対応し、地域社会の振興と発展に貢献するシンクタンクとして、1984年(昭和59年)に設立されました。長野県経済に関する調査研究を進めて情報提供するとともに、受託調査・コンサルティング・セミナー・社員研修などの活動を通じて、地域の皆様の良きパートナーを目指して活動しています。

調査研究事業

- 地域経済、産業、経営、地域振興などの動向や環境変化の情報をタイムリーに提供しています。
- 機関誌「経済月報」の発行をはじめ、「経済の進路」などの提供のほか、ホームページでも調査の速報などをお知らせしています。
- テレビ・ラジオのレギュラー番組で、経済情報を発信しています。



公共ソリューション事業

公共セクターの抱える課題解決をお手伝いします。

- 地方創生関連など各種計画・ビジョン策定の支援 / ICT基盤整備と利活用 / 地域づくりの支援 / 公共サービス関連調査 / 人材育成の支援 等

経営相談事業

企業経営全般のご相談から、人事制度・ISOなどのコンサルティングニーズにお応えします。

- 各種コンサルティング(人事制度/ISO/HACCP等)、弁護士による無料法律相談ほか
- 国などの中小企業支援事業を活用し、外部専門家と連携した中小企業の経営課題解決の支援

人材育成事業

研修教室・実務セミナー・マネジメントセミナー・講演会の開催のほか、講師派遣や個別のニーズにお応えした研修を行っています。

本所 八十二銀行本店別館3階 Tel.026-224-0501
 松本経営相談室 八十二銀行松本ビル5階
 Tel.0263-35-9382
 ホームページ <http://www.neri.or.jp/>



公益財団法人八十二文化財団の活動 ～心の豊かさを求めて～

八十二文化財団は、芸術・文化面から地域社会の発展に寄与することを目的に1985年(昭和60年)に設立されました。長野県内の芸術・文化に関する調査研究、教養講座やロビーコンサート、企画展の開催、ライブラリーの運営など各種事業を行っています。

調査研究事業

長野県内の伝統文化、芸能や生活風俗など、地域独自の文化に視点をあて、調査・記録を行い、その内容・結果を、機関誌『地域文化』(年4回発行)や報告書などで発表・公開しています。

教養研修事業

県下各地で多彩なテーマ・講師陣により、歴史・文学・現地見学などの講座を開催しています。

ギャラリー82・ギャラリープラザ長野

長野県にゆかりがある方たちの作品展(絵画・写真・彫刻など)や、八十二文化財団主催の企画展を開催しています。

ライブラリー82

郷土資料を中心に約3万冊の書籍を所蔵しています(ご利用は予約制です)。

広報活動

年6回、「八十二文化財団 催しのご案内 集」と「提携文化施設 催しのご案内」を発行し、主催事業と提携文化施設の催し情報をお知らせしています。



八十二銀行本店別館2階 Tel.026-224-0511
 ホームページ <https://www.82bunka.or.jp/>
 「八十二文化財団」はFacebookでも情報発信しています。



バリアフリー化への対応

代筆・代読の取扱い

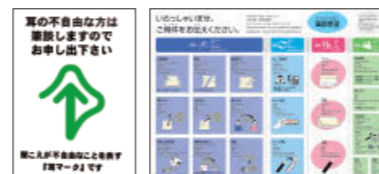
各種書類への自署が困難なお客さまにつきましては、同席される方の代筆または当行職員による代筆にてお手続きします。お借入につきましては、配偶者や同居のご親族の方による代筆にてお手続きします。また、目の不自由なお客さまが代筆により各種お手続きをされる場合は、当該取引にかかる重要説明事項及び代筆事項につきまして、当行職員が読み上げてご説明します。

八十二点字サービスの取扱い

目の不自由なお客さまにつきましては、お取引内容を点字でご確認いただけます。お気軽に窓口までお申し付けください。

筆談の受付

全店舗の店頭「耳マーク」を表示しています。また、耳の不自由なお客さまが、希望されるお取引やお手続きを伝えていただくツールとして、「コミュニケーションボード」を全店舗に備え付けています。



耳マーク コミュニケーションボード

定期預金(定期積金)証書への金額・満期日の点字複記 / 預金、融資取引の点字による残高通知(年4回)
 定期預金、定期積金の点字による満期日通知 / 点字による「商品概要説明書」の店頭備付
 点字による「普通預金口座」入出金明細の発行(毎月) / クイックカードのエンボス(文字等の浮き彫り加工)表示(行名表示)